

遠賀町内中小企業景況調査 (令和5年4月-6月期)

調査：遠賀町商工会

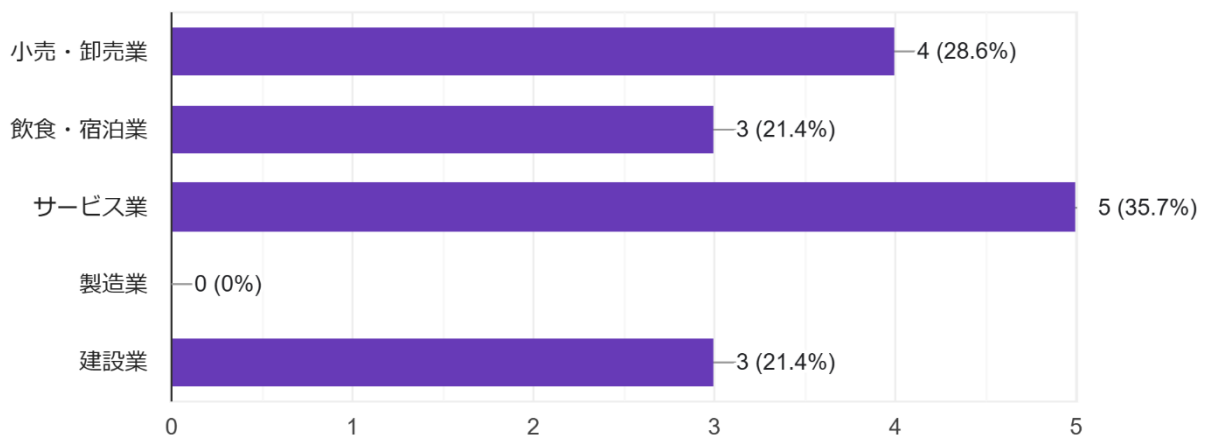
〔調査要領〕

- ① 調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによるWEB回答
- ② 調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③ 調査時点 令和5年6月1日

≪集計結果≫

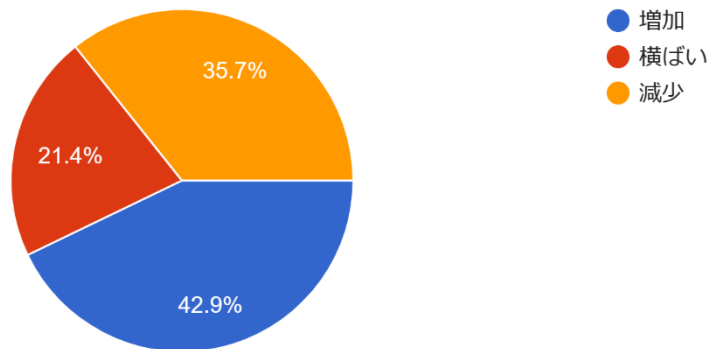
1. 貴事業所の業種を教えてください

14件の回答



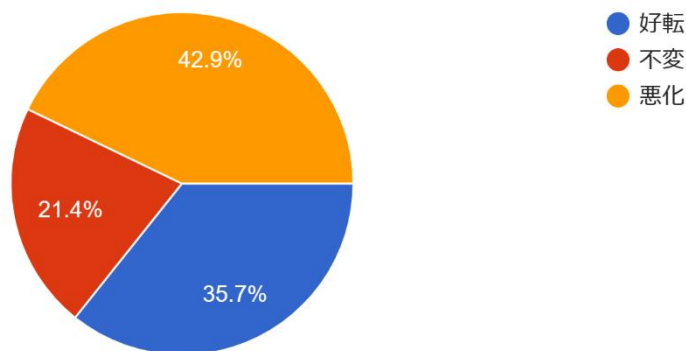
今回のアンケートの回答は、約8割が商業・サービス業で占められている。ただ、建設業も含め、コロナ禍以降の事業環境変化の影響を少なからず受けていることから、以降の回答からその対応が読み取れる結果となっている。

2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
14件の回答



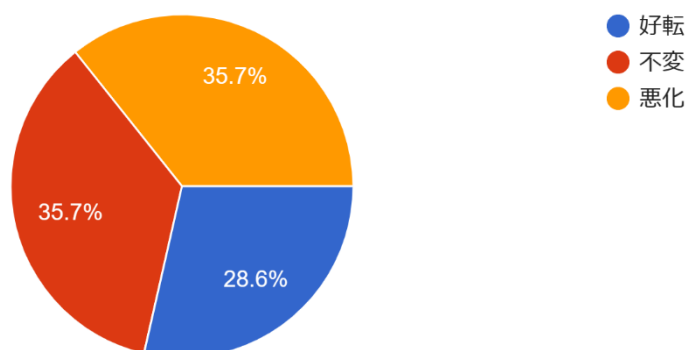
前年同期（7月期）は、まだコロナ禍とともに物価高騰の影響も大きく、売上回復の兆しが見られない状況であったが、今期は、その後の事業環境変化への対応によって業績が二極化している傾向が見て取れる。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
14件の回答



売上の現状に比べて、利益状況が悪い割合が多いのは、売上の伸びに比べて物価高騰による経費の伸びが大きく、価格転嫁が進んでいないことが要因と考えられる。

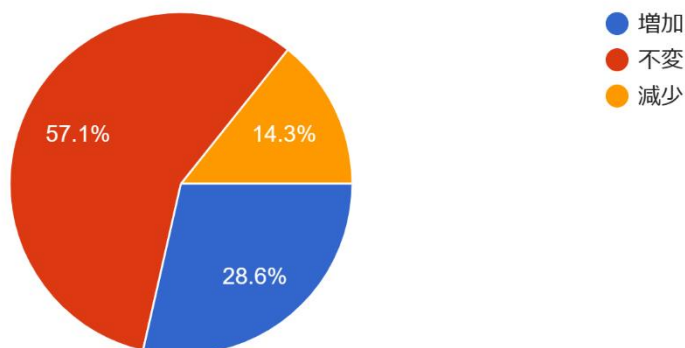
4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
14件の回答



資金繰りも物価高騰の影響で出費が嵩んでいる現状を反映した結果となっており、コロナ融資の返済開始によってさらに資金繰りが苦しくなる事業所が増えることも懸念される。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。 前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

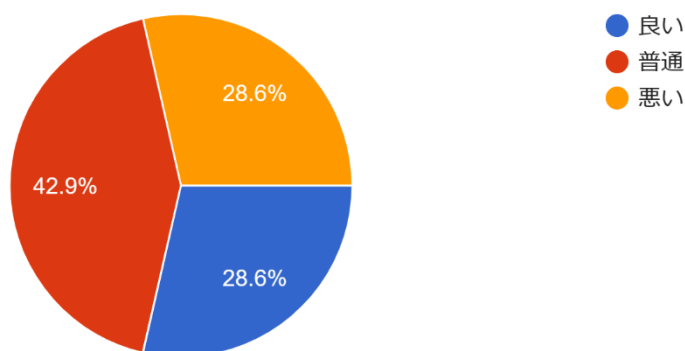
14件の回答



従業員数は、不変との回答が過半数になっているが、生産年齢人口減少による構造的な人手不足の現状に鑑みれば、今後、従業員の高齢化による自然減を補うのは容易ではなく、人材確保が事業継続のカギになると思われる。

6. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

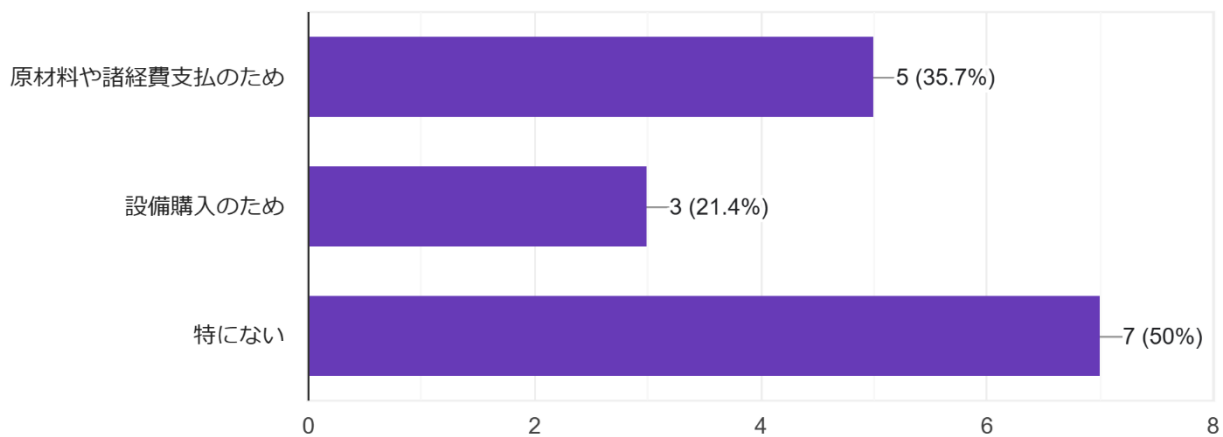
14件の回答



景気そのものは、コロナ禍の収束に伴って回復傾向が窺えるが、ここでも「良い」という回答と「悪い」という回答が拮抗しており、ポストコロナ、アフターコロナへの対応力によって認識に違いがでていくことが予想される。

5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）

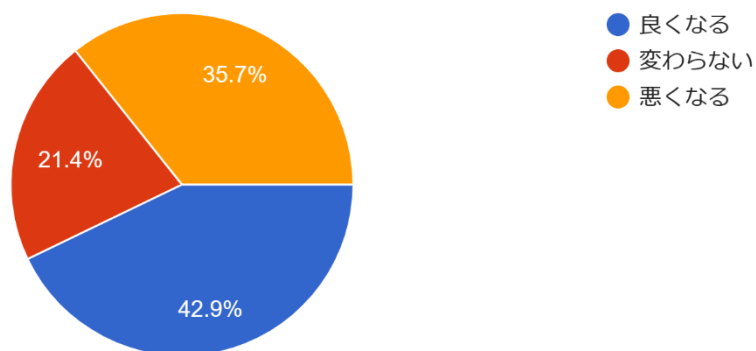
14件の回答



最も切実な資金需要として、物価高騰による経費負担増への対応を挙げられている事業所が多く、まだ将来を見据えた設備投資のために積極的に資金調達を考えるとところまで余裕が持てていないことが見て取れる。

7. 景況感について教えてください 今後の景気の見通しをどう予測しますか

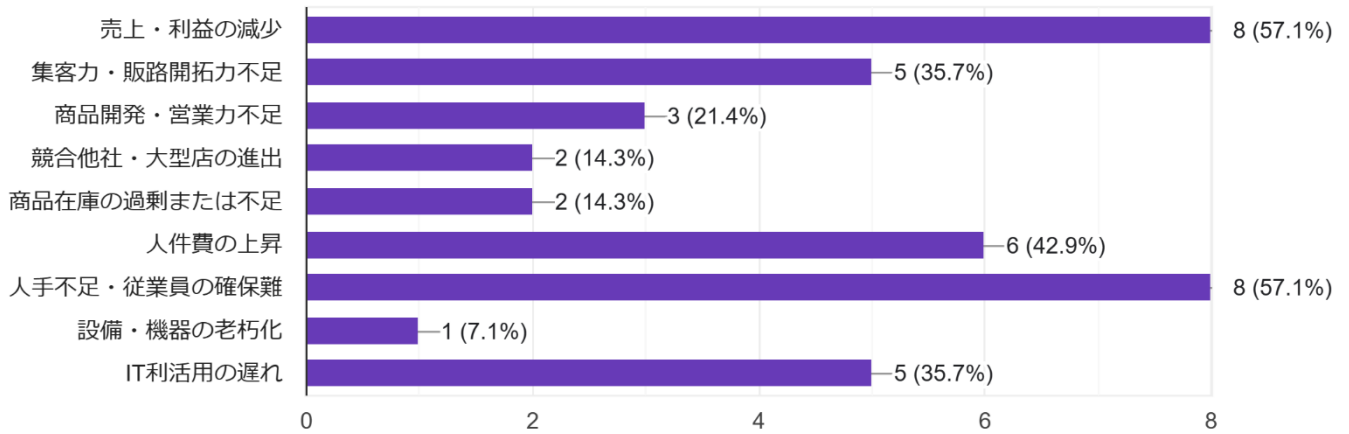
14件の回答



現在の景況感に比べて「良くなる」という回答の割合が高く、今後、事業環境が安定すれば景気は回復に向かうとの期待感が読み取れる。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

14件の回答



課題として「売上・利益の減少」「人手不足・従業員の確保難」が最も多くなっているのは、これまで見てきた通りであるが、次いで回答割合が多い「人件費の上昇」への対応としては、労働生産性の向上に前向きに取り組めるかがカギになるとと思われる。